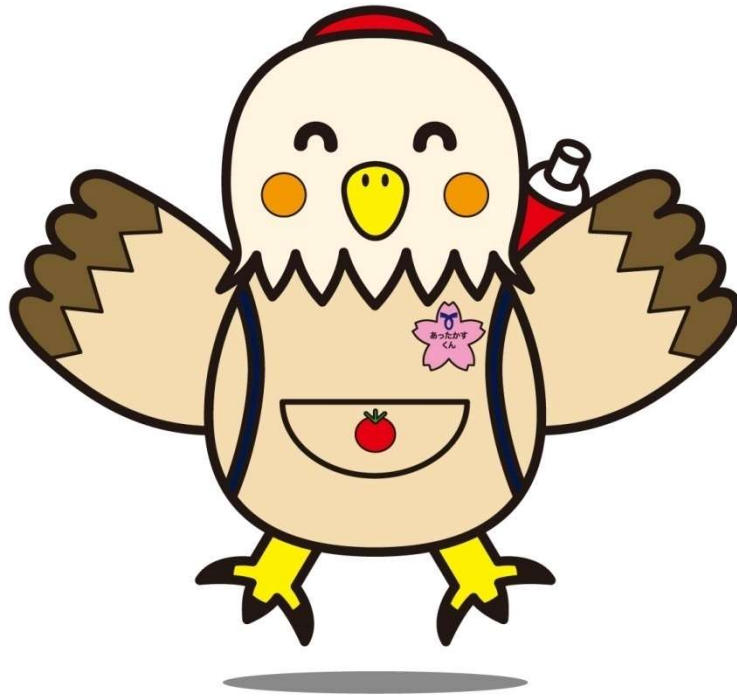


第26回 北海道還暦軟式野球選手権大会



2026年6月13日（土）～15日（月）

鷹栖町民球場・鷹栖町民グラウンド・当麻町営野球場

ぴっぷ球場・あいべつ球場・深川市民球場

- | | |
|----|--|
| 主催 | 北海道還暦軟式野球連盟 |
| 主管 | 第26回北海道還暦軟式野球選手権大会鷹栖実行委員会 |
| 共催 | 鷹栖町・当麻町・比布町・愛別町・深川市
・鷹栖町教育委員会・当麻町教育委員会・比布町教育委員会
・愛別町教育委員会・深川市教育委員会 |
| 協力 | 鷹栖町軟式野球連盟・旭川軟式野球連盟・深川市軟式野球連盟 |
| 後援 | 鷹栖町スポーツ協会・当麻町スポーツ協会・比布町体育協会
愛別町スポーツ協会・深川市スポーツ協会・北海道新聞旭川支社 |

第26回北海道還暦軟式野球選手権大会開催要項

1. 主催 北海道還暦軟式野球連盟
2. 主管 第26回北海道還暦軟式野球選手権大会鷹栖実行委員会
(旭川布袋クラブ・旭川グランパス・深川クラブ)
3. 共催 鷹栖町・当麻町・比布町・愛別町・深川市
・鷹栖町教育委員会・当麻町教育委員会・比布町教育委員会
・愛別町教育委員会・深川市教育委員会
4. 協力 鷹栖町軟式野球連盟・旭川市軟式野球連盟
深川市軟式野球連盟
5. 後援 鷹栖町スポーツ協会・当麻町スポーツ協会・比布町体育協会・
愛別町スポーツ協会・深川市スポーツ協会・北海道新聞旭川支社
6. 期日 2026年6月13日(土)～15日(月) 雨天の場合16日まで
7. 会場 A. 鷹栖町民球場 B. 鷹栖町民グラウンド C. 当麻町営球場
D. ぴっぷ球場 E. あいべつ球場 F. 深川市民球場
8. 出場チーム 北海道還暦軟式野球連盟加盟チーム 40チーム
9. 出場資格
 - ・2026年度北海道還暦軟式野球連盟に加盟登録されたチーム
 - ・昭和42年4月1日以前に生まれた人で組織したチーム
 - ・チーム編成は、監督を含め10人以上30名以内とする。
10. 適用規則 当該年度、公認野球規則、競技者必携及び本大会規則を適用する。
11. 監督会議 大会規則事前周知のため監督会議は行いません。
12. 参加申込 2026年4月20日(月)までに参加登録選手名簿を下記まで
出来る限り電子データで提出し、大会参加料をお振込願います。
※E-mail: kyouiku5@town.takasu.lg.jp 宛に様式請求のメール送信
をお願いします。

(エルジー)

【参加登録選手名簿提出先】

〒071-1292 上川郡鷹栖町南1条3丁目5番1号

鷹栖町教育委員会 体育振興係 宛

FAX (0166) 87-2850 (鷹栖町役場)

名簿の誤り等を防ぐため、データ提出できない場合のみ FAX 送信
してください。

13. 大会参加料 1チーム35,000円を下記口座にお振り込みください。
(振込手数料は貴チームにてご負担ください。)

金融機関名	たいせつ農業協同組合
店名	鷹栖支所
預金種目	普通預金
口座番号	0030798
口座名義	北海道還暦軟式野球選手権大会鷹栖実行委員会

14. 組合せ抽選 2026年3月20日(金) 第27回通常総会時に行います。
15. 閉会式 2026年6月15日決勝戦終了後に鷹栖町民球場で行います。
16. 表彰 優勝～優勝旗・優勝杯・賞状
準優勝～準優勝杯・賞状 三位～賞状
17. 参加経費 本大会に参加するための旅費・宿泊費等は全て各チームの負担とする。
18. 宿泊等斡旋 本大会では、宿泊等の斡旋はございません。
大会中における宿泊・弁当については各チームでお願いいたします。
19. その他 各会場ともにゴミは持ち帰りください。
ご不明な点について、下記までお問い合わせください。
但し、大会運営に関する事項は北海道還暦軟式野球連盟にお問い合わせください。

●第26回北海道還暦軟式野球選手権大会 LINE オープンチャットを作成しました●

大会の情報や、大会中の各会場での結果などを配信します。

LINEアプリの友達追加からQRコードを読み取り、追加してください。

なお、個人情報等の拡散防止のため、各チームの代表者または担当者一名の取り扱いにしてください。

～～～大会事務局～～～

〒071-1292

上川郡鷹栖町南1条3丁目5番1号 鷹栖町役場内

鷹栖町教育委員会 体育振興係 担当 山岸・合佐昆

TEL(0166)87-2028 / FAX(0166)87-2850

E-mail:kyouiku5@town.takasu.lg.jp

(エルジー)

大会規則

- 1 試合はトーナメント方式7回戦とする。
同点の場合は、決勝戦を除き抽選とする。(抽選は9人でジャンケン)。
 - ・決勝戦は一死満塁で特別延長戦を実施する。打順は前回の継続とし、走者は前回の最終打者を一塁走者、その前打者が二塁走者、その前々打者が三塁走者となる。
 - ・特別延長戦は、決着がつくまで実施し勝敗を決する。
 - ・全日本三大会以外は、時間制限(110分)を設定することができる。
但し、5回終了までは試合を行い、試合を成立させること。
詳細は、大会細則を参照のこと。
- 2 5回以降7点差以上生じた場合は、コールドゲームとする。
- 3 投手板と本塁間は16.3m、塁間は25mとする。
- 4 大会使用球は、還暦はナガセケンコーボールM球とする。
- 5 スパイクのデザイン・カラーは自由とする。
- 6 ユニフォームは、同色・同意匠のもので、企業の宣伝に資するものを入れてはならない。
2) パンツは自由とする。
- 7 不正出場等の規則違反に対しては、全日本還暦軟式野球連盟規約第8条により処理する。
- 8 参加申し込み後の選手の、追加、背番号の変更は認めない。
- 9 正当な理由なくして途中棄権してはならない。もし、その事実があった場合には、その事由の如何を問わず当該チーム並びに所属ブロック・所属連盟もペナルティの対象とする。
- 10 サングラスの使用は認める。但し、投手はミラーレンズサングラスの使用はできない
- 11 臨時代走は打者が頭部他に死球を受けた場合、又は打者走者が守備選手と衝突負傷した場合に限り認めるが、自己負傷した時に代走を出す場合には選手交代とする。
- 12 DHを採用する。
 - a) DHは守備に就けないが打順は自由で代打代走も送れる。
 - b) 先発DHは相手投手が交代しない限り一度は打席に立たなければならない。
 - c) 守備についての選手はDHにはなれない。
 - d) メンバー交換時にDHの有無を選択できるが以降の変更はできない。
- 13 申告敬遠を採用する。
- 14 投手の12秒及び20秒ルールは採用しない。

その他 出場チームは必ずスポーツ保険に加入し、各自健康保険情報が把握できるものを持参すること。

大会期間中の傷病については、大会本部は応急手当までとし、それ以降は当該チームまたは選手個人の負担とする。

大会細則・競技運営に関する事項

- 1 出場チームは、試合開始予定時刻の1時間前までに必ず球場に到着していること。
試合開始予定時刻を経過しても何らかの連絡もなく、チームが到着していない時は、当該チームは棄権として処理する。
- 2 各チームは、第一試合においては試合開始30分前に、その他の試合にあつては前の試合の4回終了時に、主将はオーダー表5部を本部に提出して、登録名簿との照合を受けた後に本部役員、審判員立会いのもと攻守を決定する。オーダー表には先発メンバーと当該試合の参加人数を記入すること。交代選手の確認はプログラム記載の参加申込書により行い、記載のない選手はベンチに入れない。
- 3 監督・主将の代行については、試合前オーダー表に記入し本部に提出する。
本部は、両チーム、審判員、放送担当に配布する。
- 4 シートロックは行わない。また、次試合の先発バッテリーはメンバー交換終了以降、球場内の所定の場所にて、練習を認める。(審判員の指示に従うこと。)
- 5 ベンチに入るものは、ユニフォームを着用した登録された監督、選手の他は代表者、マネージャー、記録員 各1名とする。
- 6 選手交代は、監督が同行して球審のところに行き、交代を告げ背番号を本部席、相手チームに見せ確認後、打撃・守備・走者につくこと。
- 7 日没、降雨、その他の理由によって審判員が試合続行不可能と認めた時点で、5回表裏を完了していない場合は翌日の第一試合に先立って特別継続試合を行う。この場合、打順及び守備は中断時と同一の状態を開始する。すでに5回を完了している場合は、それまでの得点が多いチームを勝ちとする。5回完了後又は7回を終えて同点の場合は決勝戦のみ「特別延長戦」を行い、他は抽選とする。
- 8 時間制限(110分)を設定する場合は、同点時の「特別延長戦」は行わない。また、試合開始時間及び制限時間到達の通告並びに5回以降の試合終了の処理は、競技者必携の「審判員・選手への注意事項」中、「試合時間の管理について」または本連盟が発出した「試合時間制限採用時の取扱いについて」に基づき行うこと。
- 9 試合進行上の異議申し立ては、必ずそのチームの監督と当事者の内、一人のみ行うことができる。
いかなる理由あつても他の者が異議申し立てをすることはできない。監督と主将が不在の場合は、事前に本部へ代理監督、主将を届けておくこと。
- 10 雨天の場合でも本部から連絡がない限り試合を行う。また雨天時の試合の可否は午前7時とし、各チームの代表者または連絡責任者が大会本部に確認すること。
- 11 金属バットは連盟公認(JSBB印)のものを使用すること。試合中、雷が発生した場合には、状況を判断して試合を中断して全員を安全な場所に避難させ、气象台等の情報を把握し、その後の処理を行う。危険防止のため打者、走者、捕手、ベースコーチはヘルメット着用を義務付ける。
また、捕手にはマスク、プロテクター、レガースを、攻守交代時に投手の投球練習を補助する選手もマスクの着用を義務付ける。尚、ファウルカップについては着用が望ましい。
ベンチは組合せ表の若い番号を一塁側とする。また、ベンチサイドのファウルボール、ボールデッドのボールは各チームで処理すること。

- 12 試合中次打者以外の者は、みだりにベンチを出る行為は禁止する。ただし、競技の準備する者、ボールデッドのボールを処理する者は除く。
また、ベンチ内で携帯電話を使用することは厳禁とする。

審判及び運営上の注意事項

- 1 試合はスピーディーに運ぶよう努め、攻守交代は駆け足で行うこと。特に野手は注意すること。ただし、投手に限り内野地域内は歩いても差し支えない。また監督等もマウンドへの往復は駆け足で行うこと。
- 2 投手が捕手のサインを見る時は、走者の有無に関わらず必ず投手板に着いて見ること。
- 3 投手の投球練習は初回7球、2回以降は3球以内とする。
- 4 攻守交代時の際、最後の野手は必ず投手板上にボールを置くこと。
- 5 打者がベンチからサインを見る時は、打席から見ること。また、打者がみだりに打席を外す時は、球審はタイムをかけずに投手の投球に対して正規に判定する。
- 6 タイムは次のとおり制限する。ベンチからのタイムは攻守ともに3回までとする。(ただし、投手交代は除く。)
守備側からのタイム要求で試合が中断された時は、投手は捕手を相手に投球練習をしてはならない。
また、試合中、意図的にスパイクの紐を結び直すためのタイムは認めない。
タイムは1分以内を限度とする。
但し、審判員が認めた場合は、この限りではない。
- 7 試合中、内野手間の転送球はインニング開始前の一回りとし投手への返球は定位置から速やかに行うこと。
ただし、試合進行状況により転送を中止させることもある。
- 8 本塁打の走者を迎える場合はベンチ前とする。
- 9 各インニング投球練習時の先頭バッターはネクストバッターボックスで待機する。
- 10 ベンチ前でのキャッチボールは禁止する。
- 11 グラウンドルールについては、担当審判員が各球場にて説明を行う。